様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和5　年　　6 月　　29 日

尼崎市長　　　　殿

提出者

住所　　兵庫県尼崎市小中島2丁目6番10号

氏名　　株式会社　大城工業所
　　　　代表取締役　徐　幸代

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　06-6491-2842

尼産廃
第　　号
-5.6.29
受：収
産業廃棄物対策担当

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	尼崎市内各工事現場
事業場の所在地	尼崎市内一円
計画期間	令和5年4月1日　～　令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06　総合工事業
②事業の規模	売上高　127,992万円（令和4年度実績）
③従業員数	39人（令和5年4月現在）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙参照

（日本産業規格　Ａ列４番）

<table>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項</td></tr>
<tr><td colspan="4">（管理体制図）
別紙参照</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和　4 年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙参照</td><td>別紙参照</td></tr>
<tr><td>排出量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
事前に数量を計測して余分な産業廃棄物を増やさないように管理した。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙参照</td><td>別紙参照</td></tr>
<tr><td>排出量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
規定の数量を超過しないように管理し、可能な限り産業廃棄物の発生が少ない工法を取り入れることで削減する。</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の分別に関する事項</td></tr>
<tr><td>①現状</td><td colspan="3">（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
現場内の保管場所に廃プラスチック類、建設系混合廃棄物（管理型含む）（廃プラスチック類、紙くず）、木くずの3区画に分け、各現場での廃棄物を分別して保管している。</td></tr>
<tr><td>②計画</td><td colspan="3">（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
その他品目についても、可能な範囲で分別を実施。</td></tr>
</table>

（第３面）

<table>
<tr><td colspan="5">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="10"></td><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和　４年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙参照</td><td>別紙参照</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
特になし</td></tr>
<tr></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙参照</td><td>別紙参照</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
特になし</td></tr>
<tr></tr>
<tr><td colspan="5">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="10"></td><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和　４年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙参照</td><td>別紙参照</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
特になし</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙参照</td><td>別紙参照</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
特になし</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和　4 年度）実績】

産業廃棄物の種類	別紙参照	別紙参照
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）
特になし

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	別紙参照	別紙参照
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）
特になし

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和　4 年度）実績】

産業廃棄物の種類	別紙参照	別紙参照
全処理委託量	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t
再生利用業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）
優良認定処理業者・再生利用業者へ処理委託を行った。
また、再利用が可能である廃棄物については再生利用業者へ処理委託とする。

（第５面）

<table>
<tr><td rowspan="9"></td><td rowspan="9">②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>別紙参照</td><td>別紙参照</td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
引き続き優良認定処理業者・再生利用業者へ処理委託を行う。</td></tr>
<tr></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

2　当該年度の６月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)　①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)　②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)　④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

○産業廃棄物の一連の処理の工程

工事開始

↓

掘削・切断 ＞ 1500 がれき類、0200 汚泥

↓

既設構造物撤去 ＞ 1500 がれき類、0800 木くず、
2020 建設系混合廃棄物（管理型含む）（廃プラスチック類、紙くず）

1500 がれき類

収集運搬＜委託:永井組など＞ → 破砕＜阪神アスコンなど＞

→再生砕石などの再生路盤材として活用

0200 汚泥

収集運搬 → 薬剤・乾燥＜泉興業など＞

→RPF、木材チップ、マテリアル原料として活用

0800 木くず、2020 建設系混合廃棄物（管理型含む）（廃プラスチック類、紙くず）、

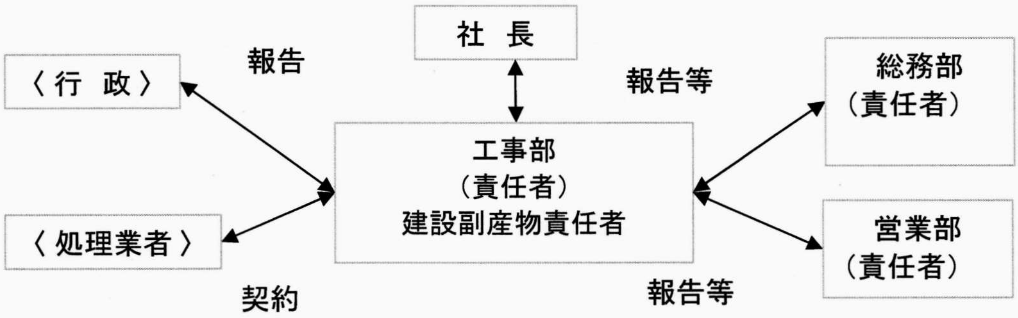
0600 廃プラスチック類

収集運搬 →破砕＜摂津清運など＞

→鉄くず、ダンボール、廃プラスチックとして活用

○産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



○産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

現状　　　　前年度実績（令和4年度）

産業廃棄物の種類	1500 がれき類	0200 汚泥	0800 木くず	2020 建設系混合廃棄物 （管理型含む）	0600 廃プラスチック類	合計
排出量	991.28t	652.45t	4.54t	35.34t	0.24t	1683.85t

計画　　　　目標

産業廃棄物の種類	1500 がれき類	0200 汚泥	0800 木くず	2020 建設系混合廃棄物 （管理型含む）	0600 廃プラスチック類	合計
排出量	950.00t	600.00t	3.00t	30.00t	0.20t	1583.20t

○自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

現状　　　　前年度実績（令和4年度）

産業廃棄物の種類	1500 がれき類	0200 汚泥	0800 木くず	2020 建設系混合廃棄物（管理型含む）	0600 廃プラスチック類	合計
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	0t

計画　　　　目標

産業廃棄物の種類	1500 がれき類	0200 汚泥	0800 木くず	2020 建設系混合廃棄物（管理型含む）	0600 廃プラスチック類	合計
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	0t

○自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

現状　　　　前年度実績（令和4年度）

産業廃棄物の種類	1500 がれき類	0200 汚泥	0800 木くず	2020 建設系混合廃棄物（管理型含む）	0600 廃プラスチック類	合計
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	0t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	0t

計画　　　　目標

産業廃棄物の種類	1500 がれき類	0200 汚泥	0800 木くず	2020 建設系混合廃棄物（管理型含む）	0600 廃プラスチック類	合計
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	0t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	0t

○自ら行う産業廃棄物の埋立処分または海洋投入処分に関する事項

現状　　　　前年度実績（令和4年度）

産業廃棄物の種類	1500 がれき類	0200 汚泥	0800 木くず	2020 建設系混合廃棄物（管理型含む）	0600 廃プラスチック類	合計
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	0t

計画　　　　目標

産業廃棄物の種類	1500 がれき類	0200 汚泥	0800 木くず	2020 建設系混合廃棄物（管理型含む）	0600 廃プラスチック類	合計
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	0t

○産業廃棄物の処理の委託に関する事項

現状　　　　前年度実績(令和4年度)

産業廃棄物の種類	1500 がれき類	0200 汚泥	0800 木くず	2020 建設系混合廃棄物 (管理型含む)	0600 廃プラスチック類	合計
全処理委託量	991.28t	652.45t	4.54t	35.34t	0.24t	1683.85t
優良認定処理事業者への処理委託量	116.53t	2.86t	4.54t	35.34t	0.24t	159.51t
再生利用業者への処理委託量	874.75t	649.59t	0t	0t	0t	1524.34t
認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t

計画　　　　目標

産業廃棄物の種類	1500 がれき類	0200 汚泥	0800 木くず	2020 建設系混合廃棄物 (管理型含む)	0600 廃プラスチック類	合計
全処理委託量	950.00t	600.00t	3.00t	30.00t	0.20t	1583.20t
優良認定処理事業者への処理委託量	120.00t	5.00t	3.00t	30.00t	0.20t	158.20t
再生利用業者への処理委託量	830.00t	595.00t	0t	0t	0t	1425.00t
認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t